

要望書

「ゲノム編集トマトの苗を受取らないでください」を

鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校

鎌ヶ谷市立五本松小学校

鎌ヶ谷市立初富小学校

鎌ヶ谷市立東部小学校

鎌ヶ谷市立道野辺小学校

鎌ヶ谷市立中部小学校

鎌ヶ谷市立南部小学校

鎌ヶ谷市立北部小学校

鎌ヶ谷市立西部小学校

鎌ヶ谷市教育長

に提出しました。

2023年4月12日・13日

「民主と自治の会」

要望書

——ゲノム編集トマトの苗を受取らないでください——

鎌ヶ谷市立・・・小学校

校長　・・・・・・・・様

2023年4月　日

「民主と自治の会」

藤代政夫

渡邊俊彦

戸部光枝

*連絡先 445-9144

日頃より鎌ヶ谷市の子ども達の健やかな成長と、ひとりの人間としての個人の尊厳を大切にすると人格形成に教育の場からご尽力くださり心より敬意を表します。

ゲノム編集による食品は、米国では高オレイン酸大豆が作られましたが企業として破綻。日本では“GABA トマト”“肉厚真鯛”“太ったトラフグ”の三つが市場に出ています。(世界でゲノム編集の食品が流通しているのは日本だけ)

「食の安全についての検査はしていない」、「自然環境への影響調査もしていない」状況での市場化です。

世界の農業は有機農業の拡大へと日本も EU も“有機農業の耕地を 25%”と方向性を出し「食の安全」を「食料主権」を「食の安全保障」を求め動き出しています。

以前鎌ヶ谷市長・教育長に対して「学校給食の食材にゲノム編集の食材を使わないでください」「学校給食の食材を有機食材にしてください」と要請しました。

ゲノム食材についての回答は「本市では積極的にゲノム編集食品を使用する考えはありませんが・・・ゲノム編集によるものかどうかの判断は非常に困難であり、給食食材として使用しないことを決意・表明することができる段階にはないと考えている。・・・国の動向を注視してまいります」(2019年9/27)でした。

又 2021年 12/1 の要請書では、

「筑波大学で開発されたゲノム編集 GABA トマトはサナテックシード社により 2021年 9月 から販売が始まり、2020年 12月 からは 4000人の市民に無料で苗が配布されました。そしてそのゲノム編集のトマト苗を 2023年には小学校に無償で提供する計画が立てられています。国が認めているとはいえ食の安全性を検査していないトマトです。花粉で自然への影響も調査されていないゲノム編集の苗です。

①・・・小学校への苗の提供があっても、鎌ヶ谷市はこれを絶対に受け入れないよう要請します。

②又、鎌ヶ谷市の学校給食ではゲノム編集食材は使用しないよう要請します。」と要請しました。

その回答は (2021年 12/17)、

「小学校への苗の提供につきましては・・・申請があった場合につきましては配布時点における GABA 高蓄積トマトの安全性についての情報を収集すると

ともに、国・県・他自治体の動向を注視しながら受け入れについて検討を行ってまいります」

「本市の学校給食食材につきましてもゲノム編集技術応用食品についての国の動向を引き続き注視しつつ、検討を行ってまいります。」とのことでした。

ゲノム編集の基本は標的とする特定の遺伝子を壊す技術ですが、多くの問題点が指摘されています。

- ① 標的外の遺伝子を壊す“オフターゲット”の危険性
- ② 標的とする遺伝子を壊した場所、つまり“オンターゲット”近辺で起きる大規模な DNA の欠落や挿入の危険性
- ③ ゲノム編集された細胞と、されていない細胞が入り乱れて発達する“モザイク”現象の危険性
- ④ 遺伝子を取り巻くたんぱく質の働きエピジェネティックの異常をもたらす 10 世代後まで影響を残すことも
- ⑤ 抗生物質耐性マーカーを入れることによる人間の腸内細菌が抗生物質耐性になる危険性
- ⑥ 狙い通り遺伝子を破壊したにもかかわらず想定外のたんぱく質がつくられることもあり、既存のアレルゲンとは異なるアレルゲンや毒物が生成される危険がある。 などなど問題があります。

更に、ゲノム編集トマトの苗を野外で育てると、“トマトは自家受粉作物なので交雑数は少ないが他家受粉はおこる”のでゲノム編集トマトの花粉との間で交雑の危険性があります。

トマトの花粉の寿命が 3~4 日と長いのでトマトの花粉の飛散距離は風速 5m で 1296 km、風速 1m でも 259.2 km と交雑の危険性は大きいのです。有機農業でトマトを作っている農家にとっては有機と言えなくなってしまう危険性が・・・

ゲノム編集トマトについては、食品の安全検査もしていないし、自然環境への影響調査もしていません。このようなゲノム編集トマトの苗を育てたり、生徒たちが食べたりすることは本当に危険です。

全国的に市民がゲノム編集トマトの苗を受取らないようにと自治体等に要請行動をしています。

現在 200 以上の自治体が「受取らない」とはっきり表明しています（教育委員会を含めると 302 以上の団体が）。又これまで「受取ります」と回答した自治体等はひとつもありません。

サナテックシード社が、ある地域では直接農家へ苗の提供を申し出ている例も聞き及びます。どのような形で配布・提供されるか具体的に分かりませんが、以下要望いたします。

○鎌ヶ谷市の小学校である貴校では絶対にこのゲノム編集トマトの苗を、成果物を受取らないよう要望します。

○貴校においてはゲノム編集の食材は遺伝子組み換えの食材と同様に給食の食材として使わないよう要望します。